

資料

茨城県におけるヒメフキバッタ (バッタ目: バッタ科) の初記録

井上尚武*、**

(2022年9月14日受理)

The First Record of *Parapodisma etsukoana* Kobayashi, 1986 (Orthoptera, Acrididae) from Ibaraki Prefecture, Japan

Naotake INOUE*、**

(Accepted September 14, 2022)

Key words: Ibaraki Prefecture, Orthoptera, *Parapodisma etsukoana*.

ヒメフキバッタ *Parapodisma etsukoana* Kobayashi, 1986 は新潟, 栃木, 群馬, 埼玉, 東京, 山梨, 長野, 静岡, 岐阜, 富山, 石川, 福井, 滋賀, 三重, 京都の各都府県にのみ分布が知られるバッタ科 (Acrididae) ミヤマフキバッタ属の一種である (Kobayashi, 1986; 日本直翅類学会 (編), 2016).

茨城県から生息が確認されていた本属の種はヤマトフキバッタ *P. setouchiensis* Inoue, 1979 とアオフキバッタ *P. takeii* (Takei, 1914) の2種のみであった (井上, 1993) が, 今回著者は茨城県における3種目の生息を確認したので, 県初記録として報告する.

採集記録

北茨城市中郷町, 4♂, 12♀, 8-XI-2021, 同, 1♂, 10-XI-2021, 井上尚武採集.

形態は以下の点が本種の特徴 (Kobayashi, 1986; 日本直翅類学会 (編), 2016; 村井・伊藤, 2011) と一致する. オス, メスとも前翅が小さく短く, 左右どうし重ならない (図1, 3). オスの腹部の側面に黒帯があり, 尾肢が「く」の字に曲がる (図2). 前胸背はどちら

も緑色だが, メスの腹部は褐色の部分が多い.

本種は茨城県北地域において山間のアカメガシワ, クマシデ, ウラジロガシなどを主とする混交林の縁の草地 (図4) に生息し, その範囲は東西約140 m, 南北約60 m, 標高約110~130 mに限られていた. 周辺を調査したが発見できたのはこの1カ所のみで, 似たような植生の環境条件があってもこの地以外では成虫



図1. 茨城県産ヒメフキバッタ♂成虫 (北茨城市中郷町, 2021.11.10, 井上尚武採集・撮影).

Fig. 1. An adult male of *Parapodisma etsukoana*. (collected and photographed by N. Inoue on November 10, 2021 in Nakagocho, Kitaibaraki City).

* 茨城県生物多様性センター 〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6 (Ibaraki Biodiversity Center, 978-6 Kasahara, Mito, Ibaraki 310-8555, Japan).

** ミュージアムパーク茨城県自然博物館総合調査調査員.

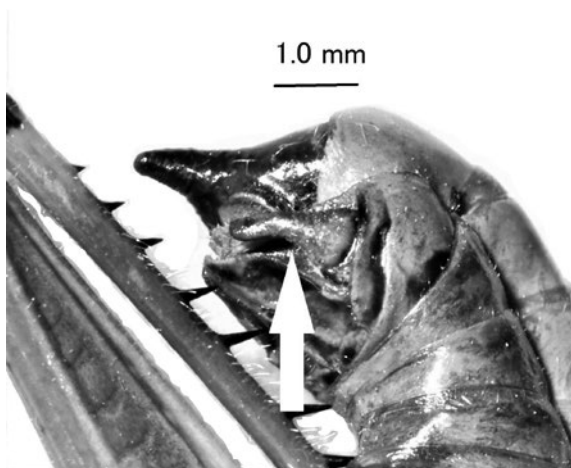


図 2. 茨城県産ヒメフキバツタ♂の尾肢 (井上尚武撮影).
 Fig. 2. A cercus of male *Parapodisma etsukoana*. (photographed by N. Inoue).



図 3. 茨城県産ヒメフキバツタ♀ (北茨城市中郷町, 2021.11.10, 井上尚武採集・撮影).
 Fig. 3. An adult female of *Parapodisma etsukoana*. (collected and photographed by N. Inoue on November 10, 2021 in Nakago-cho, Kitaibaraki City).



図 4. ヒメフキバツタの生息地 (北茨城市中郷町, 2022.7.31, 井上尚武撮影).
 Fig. 4. Habitat of *Parapodisma etsukoana* at Nakago-cho, Kitaibaraki City. (photographed by N. Inoue on July 31, 2022).

(キーワード): 茨城県, バツタ目, ヒメフキバツタ.

が発見できなかった。同属のヤマトフキバツタも一部で同所的に生息していたが成虫の個体数はヒメフキバツタの方が多かった。この理由は本種成虫の出現時期が他のフキバツタ類より遅いという記録 (日本直翅類学会 (編), 2016) から推定して、ヤマトフキバツタが発生終息期に近かった一方、本種は発生時期のピークが遅かったためと思われる。

本州では分布の東限にあたる栃木県で、那須塩原市内の数カ所のみ生息地が報告されており、栃木県レッドデータブック (栃木県林務部自然環境課・栃木県立博物館 (編), 2005; 栃木県環境森林部自然環境課・栃木県立博物館 (編), 2018) において、新旧いずれも要注目種となっている。また埼玉県レッドデータブック動物編 2018 では準絶滅危惧 1 型 (NT1) のカテゴリーにランクされている (埼玉県環境部みどり自然課 (編), 2018)。

採集した標本の 2 ♂, 6 ♀ はミュージアムパーク茨城県自然博物館に登録・保管した (標本番号 INM-1-97011~97018)。

謝 辞

本種の記載者である元飯田女子短期大学教授小林正明氏には、同定依頼を快諾されるとともに、近縁種との違いをご教示くださった。今まで頂いたご指導を含めて厚くお礼申し上げます。

引用文献

- 井上尚武. 1993. 直翅目 Orthoptera. 水戸昆虫研究会 (編). 茨城県の昆虫, pp. 45-52. 水戸市立博物館.
- Kobayashi, M. 1986. A new *Parapodisma* species (Orthoptera, Acrididae) from central Honshu, Japan. *Kontyû*, **54**: 513-518.
- 村井貴史・伊藤ふくお. 2011. バツタ・コオロギ・キリギリス生態図鑑. 449 pp., 北海道大学出版会, 札幌.
- 日本直翅類学会 (編). 2016. 日本産直翅類標準図鑑. 384 pp., 学研プラス, 東京.
- 埼玉県環境部みどり自然課 (編), 2018. 埼玉県レッドデータブック動物編 2018. 419 pp., 埼玉県.
- 栃木県林務部自然環境課・栃木県立博物館 (編). 2005. レッドデータブックとちぎー栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生動植物ー. 898 pp., 栃木県.
- 栃木県環境森林部自然環境課・栃木県立博物館 (編). 2018. レッドデータブックとちぎ 2018ー栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生動植物ー. 990 pp., 栃木県.